

## 松本大学松商短期大学部 アセスメント・ポリシー

松本大学松商短期大学部は、教育の成果を可視化し、教育の検証及び改革・改善を恒常的に実施することを目的に、ディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、アドミッション・ポリシー（AP）の3ポリシーを踏まえて評価の方針・指標（アセスメント・ポリシー）を設け、それに基づいて学生の学修成果を測定・評価する。測定・評価は、学生の入学時から卒業時までを視野に入れて多面的に行うこととし、下記3つの区分・レベルごとに以下のような基本方針並びに指標を設定している。

- ・第1区分 短期大学部全体 （機関レベル）
- ・第2区分 学科 （教育課程レベル）
- ・第3区分 授業科目 （個々の授業レベル）

### 【検証区分ごとの基本方針と指標】

#### 1. 松本大学松商短期大学部全体のアセスメント・ポリシー

学修行動調査並びに各種テスト、授業評価アンケート及び卒業予定者アンケート等によって、学生の学修と大学生活などに対する満足度の適宜、適切な把握に努め、その時系列的推移について検証する。また、学生が志望する進路に関して、就職率、就職満足度などから、希望を持って入学した学生の学修の成果及び達成状況を検証する。さらに、それらの結果をもって松本大学松商短期大学部の現状を把握し、全学的な教育研究体制、学生支援体制の検証および改革・改善に活用する。

#### 2. 各学科のアセスメント・ポリシー

各学科における卒業要件の達成状況、単位の修得状況、GPA、検定試験合格状況、各種資格・検定試験の合格状況、その他外部の客観テスト等から教育課程全体を通じた学修の成果及び達成状況を検証、測定する。また、その結果をもって教育課程の検証及び改革・改善に活用する。

#### 3. 授業科目ごとのアセスメント・ポリシー

シラバスに示した各授業科目の学修到達目標に対する評価、学生による授業評価アンケート等の結果などから、授業ごとの学修の成果及び達成状況を検証する。また、可能な授業については、プレテスト結果、期末試験及び外部テスト等を活用して学修成果の把握に努める。授業科目の成績評価は、各科目の特性や学修到達目標等を踏まえ、各担当教員がシラバスに示した成績評価の方法・基準に沿って適切に行うとともに、その結果と授業アンケート結果なども合わせ授業改善に活用する。

【検証等の方法】

具体的な検証方法は以下のとおりである。なお、学科（教育課程レベル）に関しては両学科共通としている。また、短期大学全体（機関レベル）および学科（教育課程レベル）に関しては、内部質保証室（IR委員会、FD・SD委員会、自己点検・評価委員会）において検証・評価・報告・改善を行い、授業科目（授業科目レベル）においては、ティーチングポートフォリオを利用して個々の担当教員により検証・評価・報告・改善を行い、必要に合わせて全体・学科別の改善につなげるものとする。

検証区分	AP との関係 入学前と入学後の AP の理解度と学修意欲等による検証	CP との関係 単位認定と進級判定の状況、体系的学修の進行状況の検証	DP との関係 目指す人材育成と学生の希望の実現の状況を検証
短期大学全体 (機関レベル)	①高校評定別の GPA、卒業率、進路状況 ②高校欠席回数・所属学科・学校種別の GPA、卒業率、進路状況 ③入試区分別の GPA、卒業率、進路状況	①GPA（平均値・分布） ②単位数（履修単位数・修得単位数・単位修得率） ③評価別の履修単位数 ④授業アンケート評価（全体） ⑤アクティブラーニング実施科目割合 ⑥アウトキャンパスの実施数、参加率	①学位授与数 ②卒業率（最低在籍期間） ③就職内定率、進路決定率 ④DP に対する科目の割合 ⑤検定合格率、資格取得率 ⑥DP に対する自己評価 ⑦短大生活に対する自己評価 ⑧進路に対する自己評価（業種別、内定時期別）
学科（教育課程レベル）	同上①②③	同上①②③	同上①②③⑥⑦⑧
授業科目 (授業科目レベル)	①プレイスメントテスト	①授業評価アンケート ②授業ごとの成績評価 ③授業ごとの学修成果	①授業評価アンケート ②授業ごとの成績評価 ③授業ごとの学修成果